

昭和48年度 和歌山県文化功労賞

わた せ ゆき しげ
渡 瀬 幸 茂 (号 凌雲)

住 所：京都府京都市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治37年

◎業績及び経歴

明治43年7才にして大平小洲氏に南画を師事、以来一貫して南画の道に精進されてきた。

昭和4年天皇陛下南紀行幸のおり「熊野太地浦捕鯨図巻」を献上、昭和8年帝国美術院展に初入選されてから文部省美術展、日本南画院展に連年入選、入賞されたが特に昭和41年第6回日本南画院展で文部大臣賞を受賞された。昭和8年和歌山県嘱託として吉野熊野国立公園をくまなく写生されるなど主な出品作品は主として紀州の風景画で我が国はいうにおよばず世界に本県の景勝を紹介してきたので門下生には外国人も多い。昭和33年から同34年には米国ニューヨーク・ロスアンゼルス市など六都市で個展を開催されたほか同46年パリをはじめ日本南画院欧州各国巡回展に出品された。

また同年黒潮国体には紀州の風景展を催され県立近代美術館に寄贈されるなど氏は日本南画壇の重鎮であるとともに水墨画の伝統をまもり、その発展の原動力として活躍されている。